

## 地域振興部長 説明要旨

地域振興部長の赤坂でございます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、今議会にお願いしております地域振興部関係の補正予算等について御説明いたします。

### <予算関係>

まず、補正予算につきまして、補正予算説明書の「出」の4ページをお開き願います。

第2款「総務費」第2項「企画費」第7目「交通対策費」の、総合交通政策課の「1 わかやま交通・運輸事業者支援」で5,979万1千円の増額をお願いしております。これは、物価高等の影響により厳しい経営状況にある和歌山電鐵貴志川線の安全運行を確保するための設備修繕に対する支援を行うものです。

なお、県人事委員会勧告に基づく給与改定に伴い、第2款「総務費」及び第7款「商工費」において、人件費の所要額を計上しております。

### <主な施策等>

続きまして、地域振興部における9月議会以降の主な施策等について御説明いたします。

まず、移住・交流施策の推進につきましては、10月に東京有楽町において、「わかやまLIFE移住フェア」を開催したほか、12月には

首都圏在住者等を対象に、地域のキーパーソンとの交流を通じて、和歌山の魅力を体感できる「わかやま推し交流フェア」を開催いたしました。こうした取組を契機として、地域とのつながりを深めることで、移住促進や関係人口の拡大を図り、引き続き持続可能な地域活力の創出に向け取り組んでまいります。

次に、公共交通につきましては、貴志川線を将来にわたって存続していくため、「完全上下分離方式」への移行を目指すこととすることで、和歌山電鐵株式会社、和歌山市、紀の川市との4者で合意に至りましたので、11月24日に合意書の締結を行ったところです。

今後は、令和10年4月1日からスムーズな移行が出来るよう譲渡資産の範囲設定や施設管理体制等について、4者で協議を進めてまいります。

引き続き、地域公共交通の維持確保及び利便性の向上を図るとともに、市町村、各事業者と連携し、公共交通の利用促進に取り組んでまいります。

次に、デジタル社会の推進につきましては、デジタル技術を活用した課題解決策として、10月から、県内すべての福祉事務所において、AIを活用して生活保護業務を支援するクラウドサービスを導入し、生活保護業務の効率化と質の向上にかかる実証事業を開始したところです。

また、こどもから高齢者まで幅広い世代がeスポーツを体験できるイベント『和歌山県eスポーツフェスタ「きらスポ」』を、10月13日にアドベンチャーワールドで開催し、県内外から多くの方にご参加いただきました。本イベントは今年度、2回開催することとしており、12月27日にも和歌山城ホールで開催する予定としております。

引き続き、デジタルを活用した課題解決や地域活性化に取り組んでまいります。

最後に観光についてでございます。

温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録の実現を目指している中、本県に

においても、「温泉」の認知度向上と需要拡大を図る取り組みとして、「聖地リゾート！和歌山湯めぐりキャンペーン」を11月から開催し、県内各地域の多彩な特色を有する温泉の魅力を発信しているところです。

海外からの誘客に向けては、11月に県内観光事業者と旅行手配を行うランドオペレーターとの商談会を東京において開催したほか、韓国でプロモーションを行うなど、取り組みを推進しているところです。

こうした取組を通して、国内外からのさらなる誘客を促進してまいります。

私からの御説明は以上でございます。

御審議の程、よろしくお願いいたします。